

第74期

年次報告書

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

株 主 の 皆 様 へ

株主の皆様には、平素より格別のご支援、ご高配を賜り、ありがたくお礼申し上げます。

さて、当社グループ第74期（令和2年4月1日から令和3年3月31日まで）を終了いたしましたので、事業の概況をご報告申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するために社会経済活動が大きく制限され、景気は同感染症の影響を強く受けました。社会経済活動の段階的再開後は、政府による各種政策の効果や海外経済の改善もあり持ち直しの動きが見られたものの、年度の後半には国内外において同感染症が再拡大し、収束時期の目途が立たない等、依然として厳しい状況で推移しました。

また、当社の業績に影響のある国内向け設備投資につきまして、企業は同感染症の影響による企業収益の減少および景気の先行き不透明感の高まり等から、不要不急の設備投資を延期または中止する等、慎重姿勢を続けましたが、業績が持ち直しに向かう中で投資を再開する動きも一部では見受けられました。

このような状況のもと、連結受注高は237億43百万円（前期比4.2%減）となりましたが、連結売上高は215億16百万円（前期比3.9%増）となりました。

損益面につきましては、営業利益は19億円（前期比8.5%増）、経常利益は19億66百万円（前期比11.1%増）となり、親会社株主に帰属する当期純利益は13億33百万円（前期比9.7%増）となりました。

来期につきましては、当社グループは、引き続き技術力・営業力の強化に取り組み、積極的に営業活動を展開するとともに、原価低減および販管費等コスト削減による利益の確保に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

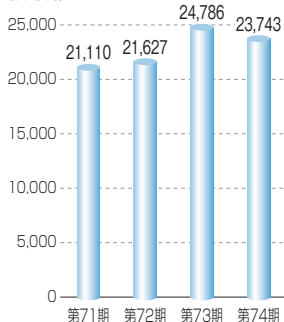


代表取締役 会長 兼 社長

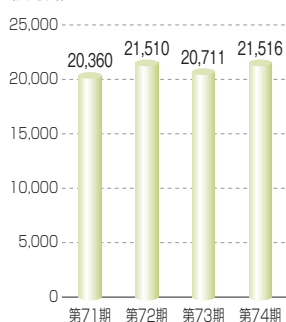
小林 康眞

令和3年6月

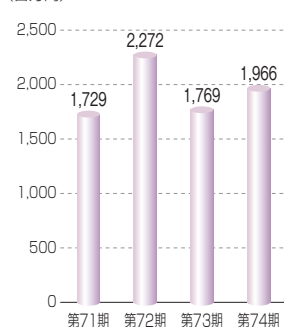
■受注高
(百万円)



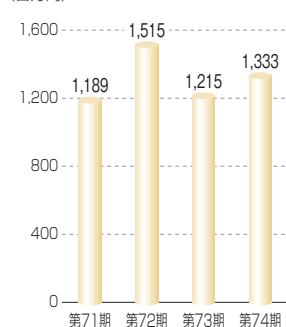
■売上高
(百万円)



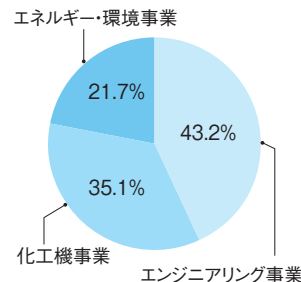
■経常利益
(百万円)



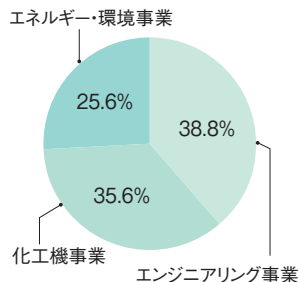
■親会社株主に帰属する当期純利益
(百万円)



■受注高



■売上高



【エンジニアリング事業】

化学機械装置の設計・製作・据付工事を行うエンジニアリング事業につきましては、設計・製作・調達・現地工事・工程管理・試運転までを一貫して行うプラントエンジニアリング（EMPC*）方式での受注拡大および地球温暖化対策として有効なCO₂排出量を大幅に削減する省エネ型蒸留・蒸発装置、機器等の受注拡大を図るべく、当社が得意とする固有技術を前面に打ち出した企画提案を積極的に展開いたしました。

その結果、連結受注高は102億48百万円（前期比5.0%増）、連結売上高は83億43百万円（前期比13.3%増）、営業利益は4億22百万円（前期比214.7%増）となりました。

※「EMPC」とは、プラント建設業界では一般的に知られている「EPC」（設計（Engineering）、調達（Procurement）、建設（Construction）の略）に製造（Manufacturing）の「M」を加えた当社造語（商標登録済み）であります。

【化工機事業】

化学機械装置の現地工事・メンテナンス業務を行う化工機事業につきましては、高性能・高付加価値製品増産のための投資等、収益基盤強化のための投資を行う企業も一部には見られましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により企業収益が減少した顧客の多くは設備投資計画の先送りまたは見直し等、慎重な姿勢を維持したため、既存設備の定期修理およびメンテナンス工事が主たる業務となりました。

その結果、連結受注高は83億35百万円（前期比0.6%減）、連結売上高は76億63百万円（前期比9.6%減）、営業利益は7億79百万円（前期比16.8%減）となりました。

【エネルギー・環境事業】

原子力を含むエネルギー・環境関連機器の設計・製作・据付工事を行うエネルギー・環境事業につきましては、安全審査が終結した原子力発電所の再稼働に向けた業務、福島第一原子力発電所関連の廃炉・廃止措置に向けた各種装置・除染対応業務、および核燃料サイクル施設では青森県六ヶ所村でのMOX燃料（ウラン・プルトニウム混合酸化物燃料）加工工場の竣工に向けた新規制基準対応業務を受注すべく営業活動を展開いたしました。

その結果、連結受注高は51億58百万円（前期比22.3%減）となりましたが、連結売上高は55億9百万円（前期比13.0%増）、営業利益は6億98百万円（前期比2.7%増）となりました。

【対処すべき課題】

今後のわが国の経済情勢は、新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況が続くことが予想され、同感染症の動向が国内外の経済に与える影響に十分注意する必要があります。このような中での当社の基本的課題は、厳しい状況下でも一定の成果を挙げうる基盤強化であると考えております。

このような認識に立ち、令和元年度から令和3年度までの第12次中期経営計画では、スローガンを「スタート！その先へ 夢未来企業200」とし、業績目標につきましては、第12次中期経営計画の最終年度である令和3年度に売上高230億円、経常利益12億円以上の確保を目指します。

この目標達成に向け、第11次中期経営計画に引き続き「技術基盤」「営業基盤」「組織基盤」の強化を継続します。また、各基盤の基礎となる「技術者の確保と育成」を最重要課題として実行し、総合プラントエン

지니어リング会社としての技術力および建設工事遂行能力の強化を図ることで企業価値向上を目指してまいり所存であります。

エンジニアリング事業につきましては、設計・製作・調達・現地工事・工程管理・試運転までを一貫して行うプラントエンジニアリング（EMPC）方式でのさらなる受注および利益の拡大を図るとともに、地球温暖化対策として有効なCO₂排出量を大幅に削減する省エネ蒸留・蒸発装置、機器等の受注拡大に向け積極的に営業展開してまいります。また、当社が総合プラントエンジニアリング会社であることの認知度を向上させるべく、今後もホームページ等の媒体を通じて情報を発信してまいります。

化工機事業につきましては、営業力強化のため、各事業所・出張所と連携する組織横断的タスクチームの活動を継続し、新規顧客の開拓、顧客の情報収集および共有化に努め、受注およびメンテナンスエリアの確保・拡大に一層注力いたします。また、品質・安全・納期・コストを高いレベルで管理することで、顧客満足度の高い製品の提供または工事の遂行を目指すとともに、引き続き顧客から信頼される人材の確保と育成に取り組み、技術力および動員力の維持・向上に努めてまいります。

エネルギー・環境事業につきましては、原子力発電所関連では、許認可を要する周辺装置の製作・保守・保全業務の受注、福島第一原子力発電所関連では、廃炉・廃止措置対応としての分析セル施設関連業務および原子炉周りの除染・解体工事、遠隔保守対応の設計・製作業務に関する受注、核燃料サイクル関連では、青森県六ヶ所村の再処理工場、MOX燃料加工工場の竣工に向けた耐震基準および火災・爆発対応の見直し設計・改造等の新規制基準対応業務の受注に注力いたします。

連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	前連結会計年度 (令和2年3月31日現在)	当連結会計年度 (令和3年3月31日現在)
(資産の部)		
流動資産	18,018	21,385
固定資産	8,060	8,340
有形固定資産	5,579	5,554
無形固定資産	34	36
投資その他の資産	2,446	2,749
資産合計	26,079	29,726
(負債の部)		
流動負債	10,945	13,030
固定負債	3,374	3,430
負債合計	14,319	16,460
(純資産の部)		
株主資本	9,592	10,697
資本金	1,030	1,030
資本剰余金	103	103
利益剰余金	8,776	9,864
自己株式	△ 317	△ 300
その他の包括利益累計額	2,168	2,568
純資産合計	11,760	13,265
負債及び純資産合計	26,079	29,726

連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	前連結会計年度 (平成31年4月1日から 令和2年3月31日まで)	当連結会計年度 (令和2年4月1日から 令和3年3月31日まで)
売上高	20,711	21,516
売上原価	16,998	17,601
売上総利益	3,712	3,915
販売費及び一般管理費	1,962	2,015
営業利益	1,750	1,900
営業外収益	68	76
営業外費用	49	10
経常利益	1,769	1,966
特別利益	—	73
特別損失	0	76
税金等調整前当期純利益	1,768	1,963
法人税等合計	553	630
当期純利益	1,215	1,333
親会社株主に帰属する当期純利益	1,215	1,333

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	前連結会計年度 (平成31年4月1日から 令和2年3月31日まで)	当連結会計年度 (令和2年4月1日から 令和3年3月31日まで)
営業活動による キャッシュ・フロー	△ 1,720	2,120
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 177	△ 186
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 73	△ 260
現金及び現金同等物 の期末残高	4,753	6,437

(注) 記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

会社概要 (令和3年3月31日現在)

商号	木村化工機株式会社
本社	〒660-8567 兵庫県尼崎市杭瀬寺島二丁目1番2号 ☎ (06) 6488-2501
創業	大正13年11月
設立	昭和25年6月9日
資本金	1,030,000,000円
従業員数(連結)	385名

役員 (令和3年6月25日現在)

代表取締役 会長兼社長	小林 康 眞
常務取締役	福森 文 男
常務取締役	佐伯 博
取締役	天野 次 郎
取締役	井城 逸 雄
取締役	重 洋 一
取締役	糸 芳 明
取締役(常勤監査等委員)	喜多 芳 文
取締役(監査等委員)	山崎 幹 男
取締役(監査等委員)	田中 圭 子

(注) 取締役(監査等委員) 山崎幹男氏および田中圭子氏は、社外取締役であります。

ホームページのご案内

当社ホームページでは、株主・投資家の皆様に向け、詳しいIR情報を掲載しておりますので、是非ご覧ください。

<https://www.kcpc.co.jp/irinformation/>

支店・工場・事業所等 (令和3年3月31日現在)

東京支店	〒110-0015 東京都台東区東上野一丁目2番13号 カーニープレイス新御徒町 ☎ (03) 3837-1831
尼崎工場	〒660-8567 兵庫県尼崎市杭瀬寺島二丁目1番2号 ☎ (06) 6487-2300
静岡工場	〒417-0002 静岡県富士市依田橋337番地の1 ☎ (0545) 32-1085
愛媛工場	〒791-3102 愛媛県伊予郡松前町北黒田930 ☎ (089) 984-2145
大分工場	〒870-0114 大分県大分市小中島三丁目1番2号 ☎ (097) 521-2281
茨城・福島事業所	
茨城事務所	〒312-0031 茨城県ひたちなか市後台字片岡460番541 ☎ (029) 274-3001
福島事務所	〒970-8026 福島県いわき市平字作町一丁目9番3号 村山ビル1階 ☎ (0246) 85-0758
六ヶ所・若狹事業所	
六ヶ所事務所	〒039-3212 青森県上北郡六ヶ所村大字尾駁字野附108番地95号 ☎ (0175) 73-8002
若狹事務所	〒914-0812 福井県敦賀市昭和町一丁目5番地4 ☎ (0770) 24-2216
東海事業所	〒411-0942 静岡県駿東郡長泉町中土狩229番地の7 ☎ (055) 986-2276
中部事業所	〒455-0057 愛知県名古屋港区築盛町70番地2 ☎ (052) 654-8151
東中国事業所	〒702-8041 岡山県岡山市南区富浜町3番3号 ☎ (086) 902-0770
西中国事業所	〒746-0022 山口県周南市野村一丁目19番7号 ☎ (0834) 62-2978
四国事業所	〒791-3102 愛媛県伊予郡松前町北黒田930 ☎ (089) 984-2145
九州事業所	〒870-0114 大分県大分市小中島三丁目1番2号 ☎ (097) 521-2281

子会社 (令和3年3月31日現在)

フォレコ株式会社	〒223-0057 神奈川県横浜市港北区新羽町639 ☎ (045) 633-7350
----------	--

株式の状況

株式の状況 (令和3年3月31日現在)

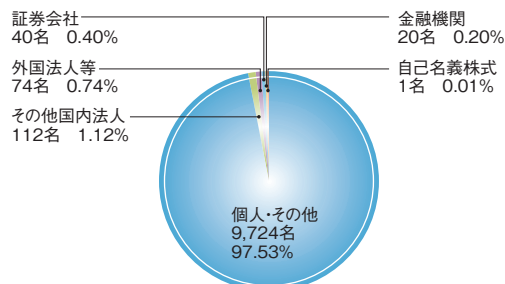
発行可能株式総数	82,400,000株
発行済株式の総数	20,600,000株
株主数	9,971名

大株主 (上位10名)

株主名	持株数	持株比率
木村化工機関連グループ持株会	1,033千株	5.05%
株式会社奥村組	969	4.74
キムラ従業員持株会	864	4.22
株式会社日本カスタディ 銀行 (信託口)	852	4.17
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社 (信託口)	656	3.21
日本生命保険相互会社	613	2.99
三井住友信託銀行株式会社	600	2.93
光通信株式会社	465	2.27
小林 薫	450	2.20
木村 孝吉	416	2.03

(注) 持株比率は自己株式 (166,578株) を控除して計算しております。

所有者別株主分布状況



(注) 大株主 (上位10名) の持株数および持株比率は、表示単位未満を切り捨てて、所有者別株主分布状況の株主数比率は、表示単位未満を四捨五入して表記しております。

第74期 定時株主総会について

令和3年6月25日に第74期定時株主総会が開催され、下記のとおり
報告ならびに決議されました。

記

- 報告事項**
- 第74期 (令和2年4月1日から令和3年3月31日まで) 事業報告、連結計算書類ならびに会計監査人および監査等委員会の連結計算書類監査結果報告の件
本件は、上記事業報告の内容、連結計算書類の内容およびその監査結果を報告いたしました。
 - 第74期 (令和2年4月1日から令和3年3月31日まで) 計算書類報告の件
本件は、上記計算書類の内容を報告いたしました。

決議事項

- 議案** 取締役 (監査等委員である取締役を除く。) 7名選任の件
本件は、原案どおりに承認可決され、取締役 (監査等委員である取締役を除く。) に小林康真氏、福森文男氏、佐伯博氏、天野次郎氏、井城逸雄氏および重洋一氏の6名が再選され、桑芳明氏が新たに選任され、それぞれ就任いたしました。

以上

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月に開催いたします。
基準日	毎年3月31日（その他必要がある場合は、あらかじめ公告いたします。）
単元株式数	100株
公告の方法	電子公告により当社ホームページに掲載いたします。 (https://www.kcpc.co.jp/) ただし、事故その他やむを得ない理由によって電子公告によることができないときは、日本経済新聞に掲載して行います。
上場証券取引所 (金融商品取引所)	東京証券取引所第一部
証券コード	6378
株主名簿管理人 および 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所 (郵便物送付先)	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	電 話 0120-782-031 (フリーダイヤル) 受付時間 9:00~17:00
(インターネット ホームページURL)	https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html
(よくあるご質問 FAQ)	https://faq-agency.smtb.jp/?site_domain=personal

【株式に関する住所変更等のお手続きについてのご照会】

証券会社の口座をご利用の株主様は、三井住友信託銀行株式会社ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。

証券会社の口座をご利用でない株主様は、左記の電話照会先までご連絡ください。

なお、お手続き方法やよくあるご質問は左記「よくあるご質問FAQ」サイトで確認いただけます。

【特別口座について】

株券電子化前に「ほぶり」（株式会社証券保管振替機構）を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である左記の三井住友信託銀行株式会社に口座（特別口座といいます。）を開設しております。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、左記の電話照会先をお願いいたします。

木村化工機株式会社

〒660-8567 兵庫県尼崎市杭瀬寺島二丁目1番2号

<https://www.kcpc.co.jp/>